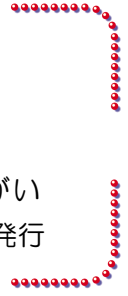




園 だ よ り 1 月 号



Y M C A 保育園ねがい
2021 年 1 月 13 日発行

「 愛する 」

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

園庭の木に赤い実がまだ少しついています。さくらんぼと言っていましたが、実は姫りんごの実でした。年末年始と門の近くにいた時、鳥の鳴き声がしたので木を見ると、黒白のシジュウカラと黄緑で目の周りが白いメジロが、ぶら下がっている姫りんごを上手に啄んでいました。11月頃は気付かなかったので、数か月経ってりんごが美味しくなったのかなと思いますが、食べる勇気はありません。また新しい自然を見つけることができました。

12月子どもたちと一緒にイエスさまを心の中にお迎えする準備をし、クリスマスの意味を知った私たち。イエスさまが私たちを救うために来られ、今も私たちの中にいてくださることを覚えました。イエスさまはどんなときでもそばにいて私たちを愛してくださっていることをずっと覚えていてほしいと願います。そのイエスさまを私たちのいる地上に使わされた神様。神様を説明すると、創造者、全知全能、唯一絶対というような言葉が用いられます。これらは神の外側の特徴を示しています。これと違って、「神は愛です」(ヨハネの手紙Ⅰ4:16)とは、神の内側、人格的特徴を示しています。神様は、他ならぬあなたを愛しておられる、あなたのことを気にかけていてくださる、あなたが大事だと言ってくださっているということなのです。

主イエスは、「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」(マタイ 22:39)と言われました。「自分を愛する」とは、自分中心に考える利己的な態度のことではありません。自分を愛するとは、神に愛されている者としての自分をありのまま受け入れることです。「自分を愛する」ことができるとき、私たちは「隣人を愛する」こともできるようになります。神に愛されている者として自分を受け入れるのと同じように、神に愛されている者として隣人を認めること。このようなことが、キリスト教保育がめざすことです。自分という存在が条件なしで愛されていると感ずることができること。これから子どもたちが生きていく社会では、たえず比較がされ、序列がつけられます。それは避けられないでしょう。だからこそ、世の中の比較とは無関係に自分という存在が大事なのだと思えること、自己肯定感を持つことができるようになること、これがキリスト教保育の大きな使命であると思います。「人が何と言おうと、神様は私を大事だと言ってくださっている。神の子と呼んでくださる。」このことを信じていることができるときに、人は困難な状況でも生きる力を持つことができます。神様だけでなく、親や保育者、地域の大人に愛された子どもは、自己肯定感が持てるのだと思います。だから、私たち保育者はありのままの子どもたちを受け入れる保育をしていくのです。これからも一緒に子どもたちの成長を見守っていきましょう。そして、私たち大人も自分自身を愛する者でありましょう。

(園長 高橋 里香)



● 1月の行事予定 ●

4日(月)	保育開始
6日(水)	身体測定(全クラス)
21日(木)	内科検診(0歳児)
26日(火)	不審者対応訓練
27日(水)	乳児礼拝
28日(木)	幼児礼拝/誕生会(幼児)
29日(金)	消火避難訓練

※26日不審者対応訓練を新たに加えました。
成城警察署の方に来ていただき行います。

●クリスマス礼拝●

クリスマス礼拝には、たくさんのご家庭に参加いただきありがとうございました。今年度は、3部制での開催で短い時間でしたが、温かい会ができたと思っています。今後もやり方を検討していきながら、イエスさまの誕生をお祝いしていきたいと考えています。



お知らせ

◎1・2月の行事について

年間予定でお知らせしていました以下の行事を中止・延期することになりました。

1月26日(火) ほっとするコーヒーやさん【中止】

2月15日(月)~19日(金) クラス懇談会【中止】

別の方法で、子どもたちの成長の様子をお伝えしようと思います。

2月27日(土) 発表会 日常保育の中で子どもたちと保育者で行うことにしました。

2月25日(木) 3歳児遠足は、3月に日程を変更して実施いたします。【延期】

※詳しいことはお手紙にてお知らせいたします。



● 1月のクラス目標 ●

- 0歳)・保育者との温かい雰囲気の中で、友だちの存在を感じながら安心して過ごし、好きな遊びを楽しむ。
- ・声やしぐさで自分の思いを伝えようとし、思いが伝わる喜びを感じる。
- 1歳)・保育者に見守られる中で、伝えたい想いを身振りや言葉で伝えようとする。
- ・砂、虫、風などの自然に保育者と一緒に触れ、驚きや面白さを共に感じながら過ごす。
- 2歳)・保育者に促されたり、一緒に行ったりして、きれいに手洗いをしようとする。
- ・ごっこ遊びやおいかけっこを通して、友だちとの関わりを楽しむ。

- 3歳)・午睡など一人ひとりにあった休息を取りながら、心身共に安心して過ごす。
- ・伝承遊びに興味を持ち、作ったり、遊んだりする。
- 4歳)・生活の中で、自分と友だちの気持ちの違いに気づき、保育者に気持ちを受け止めてもらいながら楽しく過ごす。
- ・自分の思いや考えを伝え合い、共通のイメージを持って、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 5歳)・保育者に気持ちを受け止めてもらい、自発的に身近な人と関わり遊ぶ。
- ・友だちや保育者と一緒に、様々な素材に親しみ、工夫して風やかるた、すごろくなどを作って楽しく遊ぶ。

